

平成23年度北九州市地方独立行政法人評価委員会（第4回）

日時：平成23年7月28日（木）

10:00～12:00

場所：北九州市役所 5階

特別会議室A

（事務局）

ただ今より、平成23年度第4回北九州市地方独立行政法人評価委員会を開催いたします。

まずはじめに、資料の確認をさせていただきます。お手元に配布してございます資料の1枚目が次第、次第の次でございますが、第1回の6月20日のときに配布いたしました資料6「平成22年度業務の実績及び第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書」でございます。

続きまして、本日のお配りした資料でございます。資料1「第2期中期計画及び平成23年度計画の概要について」、資料2「公立大学法人北九州市立大学中期計画（平成23年4月～平成29年3月）」、資料3「公立大学法人北九州市立大学平成23年度計画」、最後に資料4「公立大学法人北九州市立大学平成22年度及び中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書（補足説明資料）」でございます。

なお、一番下のA3横サイズの「評価結果案（作業ペーパー）」と記載している資料につきましては、委員の皆様方の評価を事務局で集約したものを案として記載してまいります。この資料につきましては、内部会議用のものでございまして、公表の際は、各委員のお名前は伏せさせていただきたいと考えてございます。

それでは、早速ですが、議事に入りたいと思います。本日、急きよ、委員長欠席により、職務代理者に議事進行をお願いいたします。

（職務代理者）

それでは、お手元の議題、次第に沿って進行させていただきますので、よろしく願いいたします。

まず最初に、議題1「第2期中期計画及び平成23年度計画について」でございます。今回、委員の皆様には「平成22年度計画」及び「第1期中期計画」を評価していただきました。最終評価案について関連することもあるかと存じますので、昨年、作成いたしました「平成23年度計画」及び「第2期中期計画」について、大学からご説明いただきたいと存じます。

なお、「平成23年度計画」及び「第2期中期計画」に関するご質問等は、最後に評価案と併せて質疑応答をお願いしたいと思います。

ではまず、大学からご説明をお願いいたします。

《大学より説明（資料1）》

（職務代理者）

続きまして、議題2「平成22年度実績報告書、中期目標期間実績報告書の質疑応答について」でございます。既に委員の皆様には平成22年度及び中期目標期間に係る評価調書を提出されておりますが、その際に疑問点やご質問があったと伺っております。事務局で委員の皆様のご質問等をまとめてございますので、それを踏まえて、大学からご説明をお

願います。

《大学より説明（資料4）》

（職務代理者）

続きまして、議題の3番目ですが、「平成22年度実績及び中期目標期間実績に係る評価案について」でございます。今回の評価の進め方について、事務局よりご説明をお願いいたします。

《事務局より説明（資料5）》

（職務代理者）

さきほどご説明いただきました「大学側の回答」を含めまして、評価にかかわる事項につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。

（職務代理者）

私の方から1点だけご質問よろしいでしょうか。今日、ご説明いただいた資料4の中で、大学院でマネジメント研究科を設置されておりますが、MBAで学んだあと、その学んだ人はどのようなステータスになりますか。例えば給料や職位が上がることは重要だと思います。そういったことを調査されていらっしゃるでしょうか。

（大学事務局）

今、おっしゃったとおりなのですが、MBAという制度は、アメリカでは教育システムと、その卒業生の就職先を一体として社会的に認知され、構造化されているもので、MBAを取得していることは十分意味を持っています。わが国ではまだそこまでいっていませんので、実際には、MBAを取得したから給料が上がる、ポジションが変わるなどがないのです。その後の就職でどう変化が見られるかについては、まだデータを持っておりませんので、今後、検討をしていきたいと考えております。

（大学事務局）

少し補足させていただきます。委員のおっしゃったことは、非常にそのとおりだと思います。ビジネススクールの場合、今、卒業生とのネットワークを常に築いていくことは非常に大事と考えていまして、卒業生で年に何回か集まりを設けて、進級状況や昇格状況などの情報を取りながら、年々と枠を広めていく取組みに、特に力を入れたところです。

第二期の中期計画についても、その辺りは触れています。そういったところから、志願者の増加策につながっていくことが必要と思っています。あるいは、全体を対象に一度アンケートをかけるなども含めて、今後していく必要があると認識しています。

（職務代理者）

他にご質問はよろしいでしょうか。

（委員）

質問ではないのですが、6年間、この委員会に出席させていただいて、途中は細かな質問を分からないままにさせていただいたと思うのですが、やはり、大学の6年間のご努力

というのは、本当にすさまじいものがあったと思います。

一民間として非常にうれしかったことは、入口のところで、いろいろな機会において大学で学ぶシステムを入れていただいたことです。また、私も小さな会社をしていますが、やはり全体的な基礎教養みたいなものが、本当に低い学生が多いです。その中で、基盤教育センターを設けていただいたことも将来的に長い目で見ないと分からないと思いますが、大学のあり方として、やはり正統性を貫いていらっしゃると思いましたが、

今後、出口になるのですが、地域創生学群で学んだ方々が、どういう形で社会に貢献していただけるかは、これからの楽しみなのです。

もう一つ、実務的なところで、企業がどういう人材を求めているのか、それから企業が企業に対してどう理解をしているかを深めていくためには、企業と連携していく必要があると思います。だから、それを今後の課題にしていただきたいと、それから、大学も法人化になって企業的な経営がいると思いますが、長い目で見ると、短い目で見て数値で反映していくところをしっかりと分けていただいて、ぜひいい人材を、本当の意味のエリート、専門的なことだけではなくて総合的に社会を見られるような人材が北九州市立大学からどんどん輩出されてくると、北九州市の力になっていくと思っています。まだ、評価は今からですが、本当にお疲れ様でしたと言いたいです。

大変厳しい、細かなことも申し上げたと思いますが、そういう意味で、皆さんも期待していると思いますので、今後とも、よろしく願いいたします。

(委員)

今の委員のご意見を伺って、6年間は大変であったと聞かせていただきました。

独立行政法人化されて、公益の面とそれから企業経営という効率を追求する、コスト面で相反する中で、今後、大学の方向性を見極められることが、本当に一番大事だと思いました。

それで、私の職業柄どうしてもコストが気になりまして、予算運営の中での経費の支出については、少し無関心であるというのが、正直な感想です。行政のコスト、実際数字に表れないコストと使ったコストの分析を踏まえた上で、次のステップを考えていただきたいと思います。

それと、事細かにいろいろ目標を設定されて、さぞかし大変だったと思いますが、逆に言うと、学生さんの自主性を損なわないように、あるいは大学の土壌が管理されることに慣れないように、第二期の中期目標期間へのさらなる向上をお願いしたいと思います。

(職務代理者)

それでは、これより評価の審議を行いますので、大学関係の方は、ご退席をお願いいたします。

《大学関係者退出》

(職務代理者)

それでは、これまでの大学側からの説明を踏まえまして、平成22年度及び中期目標期間の「項目別評価」と「分野別評価」を審議いたします。

まず、事務局から分野ごとに説明をお願いいたします。

《事務局より説明》

(職務代理者)

ただ今のご説明につきまして、ご質問ございましたら、よろしくお願ひいたします。

<各委員からの意見なし>

(職務代理者)

私も特に意見はございません。

それでは、項目別評価・分野別評価は、事務局案どおりに決定したいと思います。よろしいでしょうか。続きまして、全体評価につきまして、事務局からご説明をお願いいたします。

《事務局より説明》

(職務代理者)

ただ今のご説明につきまして、ご質問、ご意見ございませんでしょうか。

(一同「異議なし」)

(職務代理者)

それでは、全体評価は、事務局案どおりに決定したいと思います。

委員会は、これで終了となりますが、事務局から今後の予定について説明をお願いいたします。

《事務局より「今後の予定」の説明》

(職務代理者)

それでは、本日の委員会を終了させていただきます。大変お疲れさまでございました。